



学校だより

令和5年 1月10日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka>



「新しい」始まり

校長 仲川 美世子

穏やかな年明けを迎えました。年末年始、例年以上の大雪に見舞われた地方があり、帰省の足に困ったり、生活そのものに大変なご苦勞をされたりしたところもあったかと思います。幸い、横浜は寒さは厳しかったものの、美しい日の出を拝むこともできました。

さて、このところ今年こそ、今年こそと年明けに思うことが続いてきました。ここで言うのはもちろん学校経営上のことですが、それぞれの胸中にも「今年こそ」と思うことはあるのではないのでしょうか。「〇〇ができるように（上手に）になりたい」「〇〇に行ってみたい」「〇〇に会いたい」……淡い願望のようなこともあるかもしれませんが、未来へ続く大きな望みである場合もあるでしょう。新しい年の始まりに新しい望みを持って日々を送りたいと思います。



「新しい」と言えば、いよいよ今月「新しい校舎」の建築が始まります。平成30年に校舎建替校に選定されてから、これまで多方面にわたっていろいろな方々の話合いが重ねられてきました。よりよい榎が丘小学校であるために、コンパクトでありながら使い勝手がよく、ゆとりのある空間づくりと光と風が通り抜けることも考慮し、今の校庭に口の字形で中庭のある校舎になります。体育館は地域の方のためにも校舎の上ではなく、地面に接するように考えられています。そのために、建てて壊してまた建てて壊してと時間がかかってしまい、校庭が使えない期間も長くできてしまいますが、すべてをマイナスと考えるようにしたいものです。今の校舎の真横で新校舎が建てられるということは、すぐ身近でめったにない工事を見ることがができます。図工室や体育館、3、4階の教室から日々進捗の様子を見ることができるところでしょう。建築会社の方からは折々に子どもたちにも参加できることを考えたいというお話もいただいています。過去の例では、大工体験や電気機器操作体験、実際の壁に塗装する体験などしたことがあるそうです。自分たちの学校を建てている本物の職人さんに教えてもらいながら、もしかしたら自分の刷毛の跡を校舎に残せるかもしれないと考えたら、こんなすごい経験はないと思います。

人の望みにはきりがありません。でも、望みがあるから頑張れます。今年もたくさん希望をもって、その希望が一つずつ叶うように励んでいきましょう。本校職員も一丸となって子どもたちの望みが叶うように、子どもたちと望みを共有する楽しみを味わいながら努めて参ります。今年も地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。